

そらだ、

山へ行くから



年間山行内容

4月29日	新入生新歓山行	筑波山
5月28日	トレーニング山行①	三ノ塔
6月10日	トレーニング山行②	御前山
7月8-9日	トレーニング山行③	大菩薩嶺
8月1-5日	夏合宿 北アルプス	燕岳 大天井岳 常念岳 蝶ヶ岳
9月23-24日	秋合宿(予定)	北八岳 蓼科山
10月23日	秋合宿②(予定)	未定
11月5日	秋合宿③(予定)	未定
12月16日	山行(予定)	未定
3月16日	卒業生送迎山行(予定)	未定

新入生新歓山行 筑波山(877m)

行程

7:50 つくば駅集合

8:00 バス出発

8:36 筑波山神社入口

9:00 神社参拝

9:10 宮脇駅

11:00 筑波山頂駅

11:20 筑波山(男体山)

12:00 筑波山(女体山)

13:35 昼食

14:00 つつじが丘

15:20 つくば駅・解散

秋葉原駅からTX線で45分



いよいよ登山開始。
初めての本格的な登山の人もいるから緊張してきた。山頂目指して頑張るぞ。



筑波山頂駅からの眺め。下に市街地が見える。晴れていたなので景色もよく、気持ちよかった。駅周辺には店がたくさんあり、皆でアイスやジュースなどを買って楽しんだ。お昼もおいしかったなあ。



戸山高校山岳部の足跡を残してきました。

新入生新歓山行 筑波山(茨城県つくば市)

今回の山行は新入生という新しい仲間と絆を深めるための山行でした。そのため、山の中でも比較的簡単に登れる山に行きました。また、山頂部分はこの後に登るどの山よりも近代的で文明の感じられるような作りでした。

しかしこのとき1年生はまだ知らなかった。これが山ではなく、標高の高い位置にある景色の良い只の観光地だったと。。

↓ 充実した山頂



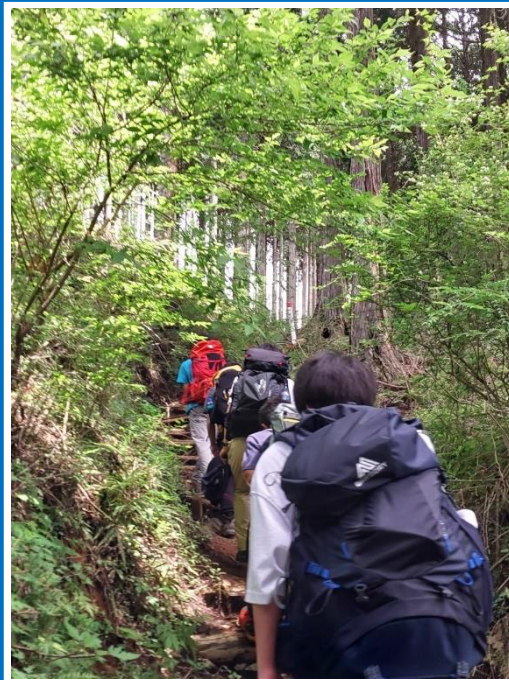
トレーニング山行① 三ノ塔(1205m)

行程

- 7:50 渋沢駅集合
- 8:08 バス乗車
- 8:23 大倉
- 12:30 三ノ塔
- 13:30 昼食
- 16:00 大倉
- 16:18 バス乗車
- 16:31 渋沢駅解散

新宿駅から小田急で1時間

総移動距離:10.8 km



登山開始。
初めからかなりの急登だったがこのときはまだ山頂手前の坂の事など知らないのであった。



山頂まであと〇〇mの看板があって喜ぶのも束の間、最後の心臓破りの急登がそこに待ち構えていたのだった。

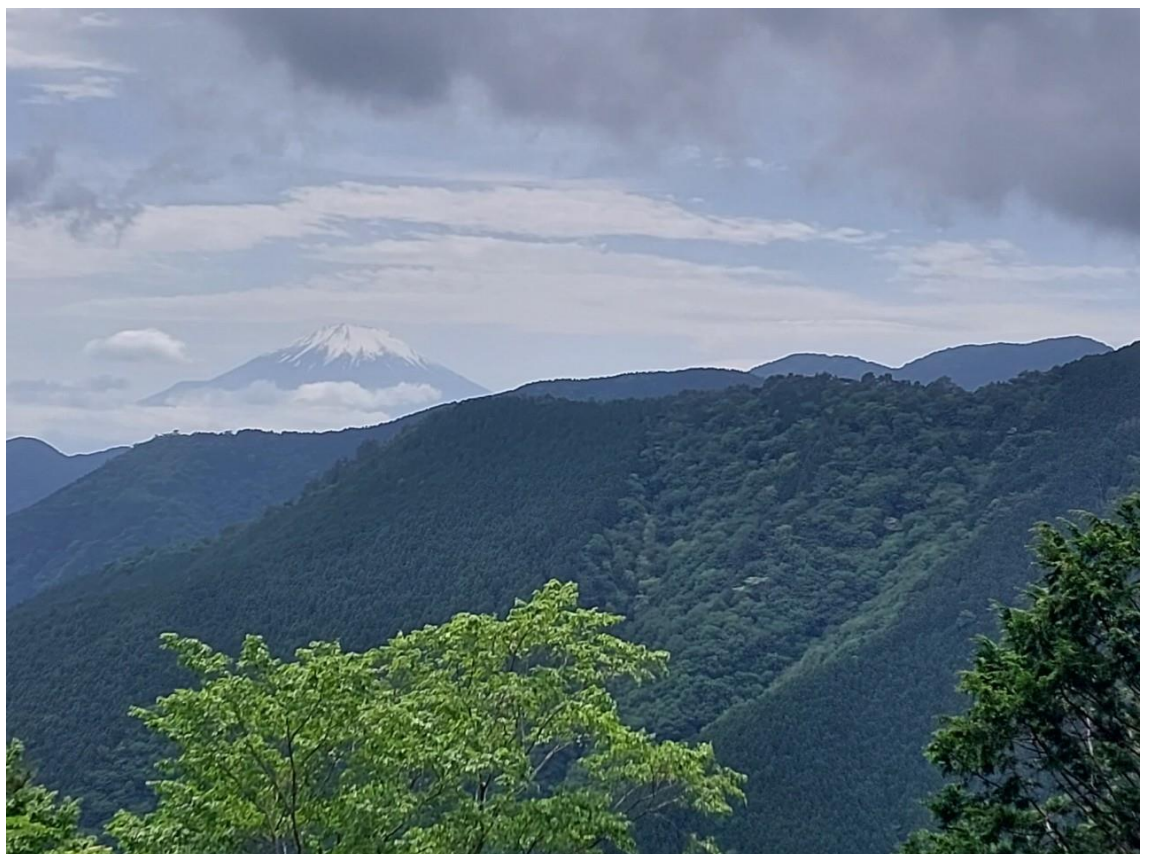
三ノ塔に到着！・・・したのだが、辺り一帯、雲。曇り。数メートル先の草木しか見えない。しかも何も障害物がないので風が吹きつけてきて寒い。山小屋が唯一の風よけである。



トレーニング山行① 三ノ塔(神奈川県秦野市)

今回の山行は夏合宿に向けての体力の向上及び登山技術の習得を図ることが目的であったので、かなり道中つらく、何より、重りとして水を大量に持って行ったのでザックの総重量が男子は15-20 kg、女子も10-15 kgにもなり、これが体力を着実に削っていく。

残念ながら頂上の天気は悪かったが、頂上から少し下りれば霧が晴れて景色も楽しむことができた。



富士山

With

雲

トレーニング山行② 御前山(1405m)

行程

- 8:30 奥多摩駅集合
- 8:50 奥多摩湖バス停到着
- 10:20 サス沢山
- 12:30 御前山
- 13:40 昼食(初調理)
- 14:25 鞘口山
- 17:00 奥多摩駅解散
- 17:00~ 温泉(希望者)

ダムからスター

ト。少し登って

最初の休憩地点

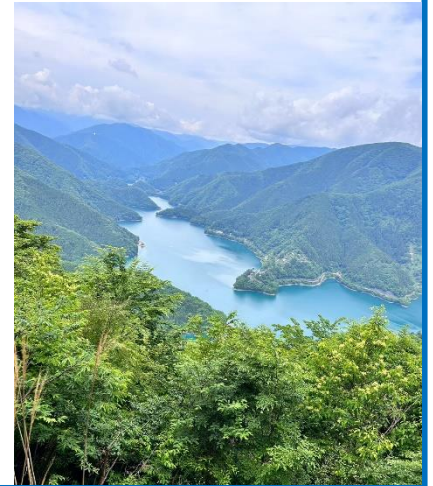
からは上から見

たダムと綺麗な風

景が見られた。

このままの天気が

続くといいなあ。



今回の山行から昼食を食事係が作ることになった。今回はカレーライス。少々お米にミスがあったものの、カレーの出来はとてもよく、少し天気の悪い山頂では熱々でおいしかった。次回はお米を綺麗に炊けるようにしたい。

トレーニング山行② 御前山(奥多摩市)

今回の山行も前回のトレーニング山行に引き続き、夏合宿に向けて体力の向上及び登山技術の習得を図るものだった。そして食事の準備もあったため、全体的に前回の山行よりも疲れたが、今回から温泉に行ってみたのである。(実際には前の山行の時から行っていたようだが)

やはり温泉は素晴らしい。汗を洗い流してくれるし、温泉の後に飲む牛乳、アイスなどの冷たい飲み物、食べ物は最高だ。疲れが和らぐ気がした。

温泉

With

Friendly な仲間



トレーニング山行③ 大菩薩嶺(2057m)

行程

1 日目

9:15 塩山駅集合

9:57 大菩薩峠登山口

10:50 千石茶屋

11:50 昼食

14:00 大菩薩ヒュッテ

19:00 夕食・就寝



今回の山行ではお昼に千石茶屋というお店に行きました。それぞれ昼食を食べた後に山梨県産のフルーツを使用したシャーベットやジュースを食べ、川の近くということもあり、涼しくなりとてもいいスタートでした。

道中で桃を(皮ごと!)食べました。みずみずしくて、酸味と甘みのバランスが丁度よく、疲れた体に染み渡りました。

夕食のカレー。
リベンジしただけあって、お米もカレーの出来も素晴らしかった。



トレーニング山行③ 大菩薩嶺(2057m)

行程

2日目

- 3:00 起床・朝食
- 4:00 撤収・片付け
- 5:00 出発
- 6:00 大菩薩峠
- 7:30 雷岩
- 8:00 大菩薩嶺
- 9:30 大菩薩峠登山口
- 9:40 解散



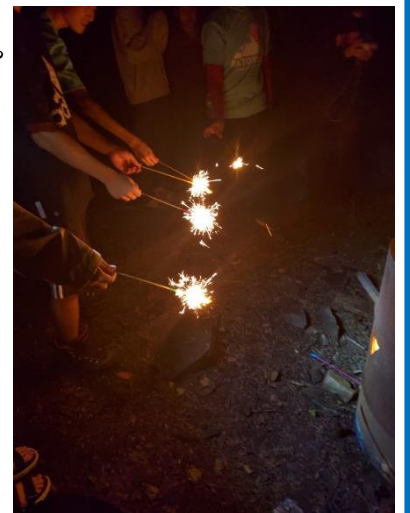
あいにくの天気である。起床時には雨が降っていたので早く出たのだがやはり雨。山頂付近の天気がよかった山行が筑波山以外今のところ無い。



草の背丈や霧の様子から映画のシーンに見えた。めっちゃ濡れた。

トレーニング山行③ 大菩薩嶺(山梨市)

今回の山行は夏合宿に向けてテントに慣れることが目的だったが、見返してみると今までの中で一番グルメな山行だった。また、ヒュッテの方のおかげでキャンプファイヤーや花火も楽しむことができた。



夏合宿 燕岳(2763m) 大天井岳(2922m)
常念岳(2857m) 蝶が岳(2677m)

行程

1 日目

7:40 新宿駅

10:59 穂高駅

12:05 中房温泉

19:00 夕食・就寝

2 日目

3:00 起床

4:00 朝食(パン)

5:00 出発

7:30 合戦小屋

8:50 燕山荘

10:00 昼食

10:30 燕岳

11:10 燕山荘

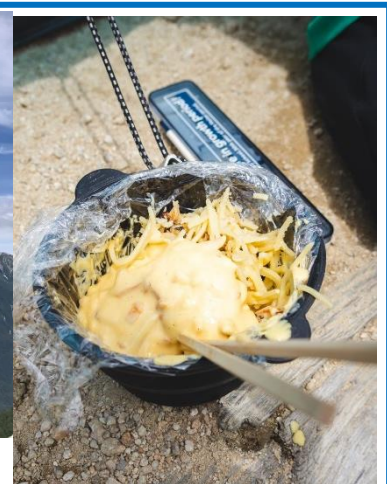
16:00 夕食

19:00 就寝



合戦小屋での風景と
間食。大きなスイカは
水分と糖分を手軽に
おいしく補給できて

とてもよかった。合戦小屋へ荷物を運ぶケ
ーブルカーみたいなものを見れた。



燕山荘からの景色と昼食のパスタ。

北アルプスの雄大な自然が感じられるな
あ。見渡す限りの山、山、山。

夏合宿 燕岳(2763m) 大天井岳(2922m)

常念岳(2857m) 蝶が岳(2677m)

行程

3日目

3:00 起床

4:00 朝食(パン)

5:00 出発

8:20 大天井岳

9:30 昼食

11:40 横通岳

12:40 常念小屋

16:00 夕食

19:00 就寝

燕山荘から見

えた朝日。

今日から縦走

が始まる。

因みに、この時



気温は 10°C! 夏とは思えない寒さでした。

しかし午前中は 30°C(体感)くらいまで上が

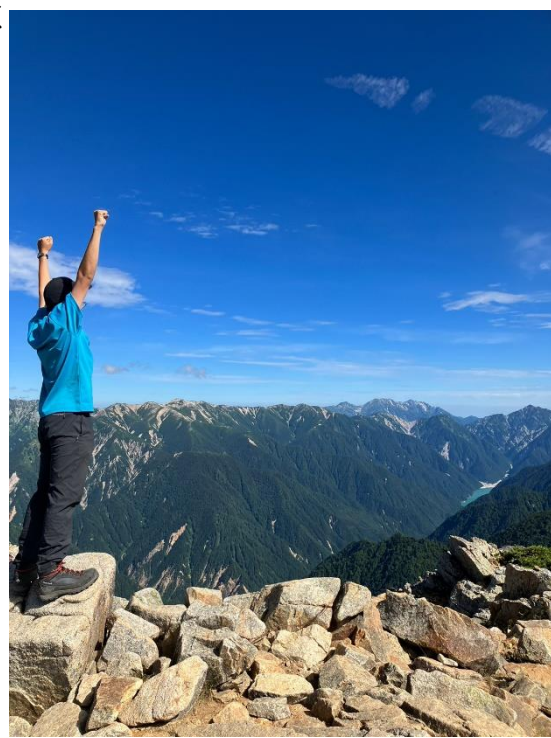
るので寒暖差に注意せねば。

大天井岳頂上に到着! 今回の山行の中で最高峰

の 2922m からの景色は

圧巻でした! 風も吹いていて

とても気持ちいいです。



夏合宿 燕岳(2763m) 大天井岳(2922m)
常念岳(2857m) 蝶が岳(2677m)

行程

4日目

3:00 起床

4:00 朝食(カップ麺)

5:00 常念小屋出発

6:20 常念岳

10:10 蝶槍

11:10 蝶ヶ岳

11:25 蝶ヶ岳ヒュッテ

13:00 昼食

16:00 夕食

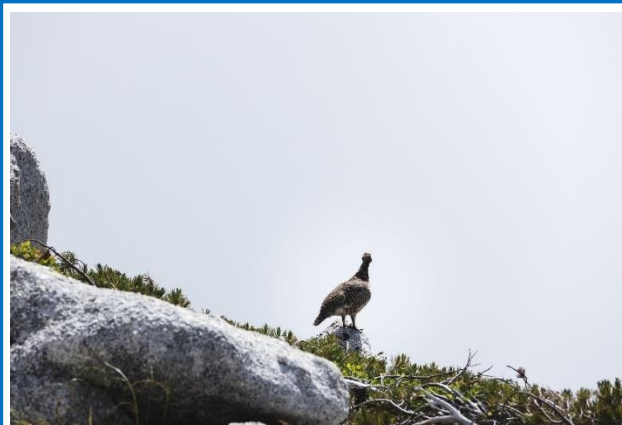
19:00 就寝



常念岳頂上での休憩シーン。今回の山行では基本的に頂上はこうした岩場なので、隙間に物を落としてしまわないかヒヤヒヤした。



夕食の麻婆春雨。初めてにしては上出来だ。



国の特別天然記念物で絶滅危惧種の雷鳥。今回の山行では縦走中に何回か見かけた。親についていく雛鳥はとて小さく可愛らしかったなあ。またいつか見てみたいものだ

夏合宿 燕岳(2763m) 大天井岳(2922m)
常念岳(2857m) 蝶ヶ岳(2677m)

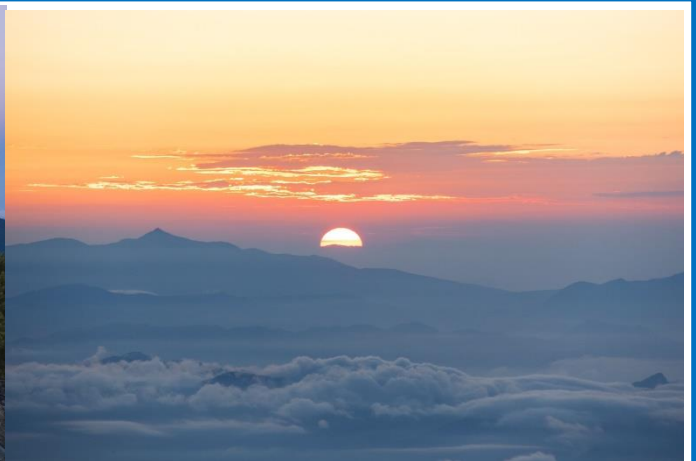
5 日目

- 3:00 起床
- 4:00 朝食(カップ麺)
- 5:00 蝶ヶ岳ヒュッテ出発
- 9:40 上高地バスターミナル
- 9:50 解散



(4日目の続き)

ええ。まじかよ。
1時間半であそこま
で一旦降りて登るの
か。いったいどんな
急勾配なんだ。。



最終日の朝。蝶ヶ岳からの御来光である。少し雲が多かったが、逆に雲の赤く変化していく様子が楽しむことができてよかった。



下山後皆が買ったお昼
(僕は温泉にも入った)



夏合宿（北アルプス 長野県安曇野市）

山岳部の仲間たちと5日間も共に過ごして、すごく楽しかった。共に準備して、休んで、話して、そう
いった一つ一つの行動が忘れられないほど記憶に刻
まれていて、この夏一番の思い出だったと心から感
じます。最後に、山行を引率してくださった先生方
に、心よりお礼申し上げます。

